

令和6年度
法務省啓発活動地方委託事業人権教育指導者研修
会

誰一人取り残さない地域社会の創造
～障がいのある人の人権～

障がいのある人の教育や福祉に携
わらせていただいて

2024.12.5

社会福祉法人緑伸会

企画調整室長 村岡 章子

自己紹介

- 1959年4月12日生まれ 牡羊座 血液型はA型 札幌生まれ
- 保護犬のムギと暮らしている 娘二人は自立
- 約37年間道立、札幌市立の特別支援学校の教員を務めた（最後の3年間は校長も）
- 定年退職後今の社会福祉法人に再就職
- 北星学園大学大学院には45歳の時に入れていただき修士課程修了
- 趣味は温泉巡り、ドライブ、手抜き料理



勤めた特別支援学校

昭和58年スタート

- 北海道札幌盲学校幼稚部 教諭 (6か月)
- 北海道鷹栖養護学校小学部 教諭 (3年6か月)
- 札幌市立豊明高等養護学校 教諭 (10年)
- 札幌市立豊成養護学校高等部 教諭 (7年)
- 札幌市立北翔養護学校高等部 教諭 (3年)
- 札幌市立山の手養護学校小学部 教諭 (7年)
- 札幌市立北翔養護学校 教頭 (3年)
- 札幌豊明高等支援学校 校長 (3年) 令和2年3月 定年退職

定年退職後

- 社会福祉法人緑伸会へ入職

はじめの1年半～就労継続支援事業所B型の立ち上げ、運営

児童自立援助ホームの自立支援担当

法人内研修の企画立案 等

- 北海道教育大学、北星学園大学短期大学部、北海道医療大等で

時間講師

私の職場：社会福祉法人 緑伸会

- 法人としてはまだできて6年目の新しい法人です。（NPO法人含む）
- 保育園
- 障がい者支援
 - ①グループホーム・宿泊型自立訓練 ②生活介護③就労継続支援B型
 - ④ヘルパーステーション ⑤指定相談事業 ⑥委託相談事業
- 児童養護
 - ①自立援助ホーム

昭和から振り返って

- 養護学校の義務化 1979年（私が教師になったのは 1983年）
- 義務教育！すべての子どもに与えられたのは実はこの年
- それまでは、「就学猶予」「就学免除」で学校へ行けない子どもがいた
⇒義務化後の養護学校は全道にもたくさんでき、障がいの重度化は否めなかった
- 高等部への進学率は20%程度
それ以外の中学部卒後は、就職するか遠くの施設に入所するかごく一部が、家から地域の作業所へ通所できる

障がい者支援の変遷 (ノーマライゼーションへ)

- ・2000年 介護保険制度（高齢者介護の社会化）
- ・2003年 支援費制度（障がい者サービスが契約へ）
措置から契約へ 応益負担、「介護を買う」
- ・2006年 障害者自立支援法
三障害を分けない
- ・2013年 障害者総合支援法
地域社会での共生

法律は少しずつ・・・

- 法律の改正と共に障がい者を取りまく環境も変化している
- 障害のある人
- 障害のある人の家族

が生きやすくなってきているのでしょうか？

- 1 様々な情報が本人・家族に届いているか？
- 2 母「私が死ぬまでは何とかします。その先は？ ？ ？」

今でも少なからずそんな声が届きます

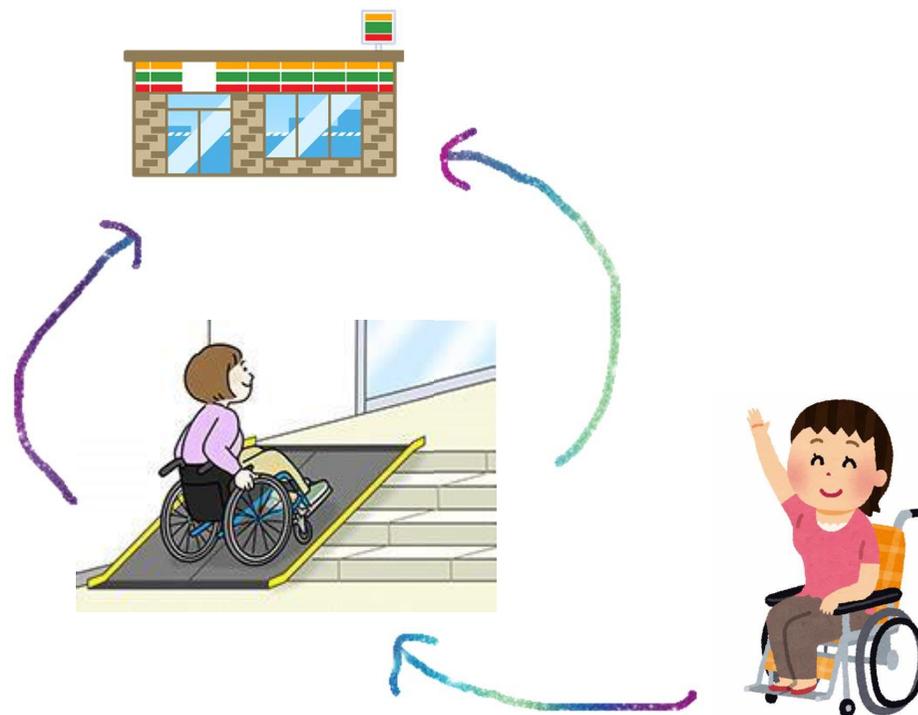
障がいのある人…では普通の人とは？

- 障がいがある
 - 頭が悪い、勉強が苦手、手足が不自由、目が見えない…
- 普通って？
 - 障がいの裏返しではないはず
- ICF（国際生活分類2001）の考え方
 - 障がいがあるからできないのか？
 - 社会構造ができなくしているのか？

例えば・・・

- 私は車いすユーザーです。
- 家からコンビニに行くためには緩い坂があり、上り初めには3段の階段があります。

⇒どうすれば自由にコンビニにいけるかな？



障がいがある人ができる！ために

- できないことを障がいのせいにするのではなく
 - どうやったら「できる」のか？
 - それでも難しい時にはどんな「支援」が必要なのか？
 - それを考えていくことがとても重要
-
- 障がいのある人が暮らしやすい社会は、みんなが暮らしやすいはず
バリアフリーからユニバーサルデザインへ

障がいがある人も共に地域で暮らす

- グループホームで暮らす
 - GHにもさまざまなバリエーションがある
 - ファミリー型 マンション型 等々
 - 食事付き 食事なし 金銭管理 外出同行・・・等々
- 一人暮らしに挑戦中～定期的にヘルパーさんや家族が支援
- 一人暮らしを継続中

事例1 ゴミを出そう！

札幌市

燃えるゴミ(有料)
燃えないゴミ(有料)
ビニール・プラスチックゴミ
雑紙
缶・ペットボトル
乾電池
スプレー缶
加熱たばこ・ライター



事例2 洗濯をしよう！

- 毎日の下着や靴下OK！
- ハンカチはアイロンもかけたよ
- 寝具はどう？
- クリーニング屋さんに出すものはどれ？



事例3 友だちを呼ぼう～騒音

久しぶりに友だちが来るよ
音楽大好き！
バンドでギターの練習
ノリノリでダンス
ゲームで大バトル
もう夜中だけど……



事例4 金銭管理・諸手続き

- 毎月収入と支出は大丈夫？
- 携帯の払い忘れ、ついつい課金・・・
- ア○ゾンなら、ピッとすればすぐ届く・・・
- 区役所から封筒が来てるけど何だろう？
- 面倒くさいな
- 現金だけではない、クレジットカード、携帯決算・・・



自己破産の道は意外とすぐやってきました。

ちょっとしたお節介が命をつなぐ

本当にあったお話です

①寒くなったね、ストーブつけたかい？ 「うん」

⇒ストーブに煙突は付いていなかった・・・

②「先生、カードの会社の人にとっては親切です。困ったらいつでもお金をくれます」⇒すでに負債が30万円にも・・・

③携帯で請求書が届かないようにしたから、もう大丈夫

⇒請求書が来ない＝払わなくても良くなった ではない！

ダメ！ 違う！ じゃなく・・・

- いけないことはダメ、違うを伝えなきゃ、また繰り返すよ
- 叱るときにはちゃんと伝えて、少し困ってもらわなきゃ
と大人は思いがちです・・・間違っはいいないけど・・・
- 「ダメ」だけではなく、「こうしたらいいよ」「次の○曜日にもう一度やろう」
- など、**次の提案を伝えて承認**してもらうことが大事！
- ダメ！ だけではどうすればいいか解決策が見つからず、混乱し、時にはパニックになってしまいます。

ほんの少しお節介に見守ってあげてください

- 出来ないだろうからやってあげるのは親切ではない
- 本人ができるようになる芽を摘んでいる
- だから「一緒にやってみない？」
- だめ！じゃなく、「こうすればいいよ」の優しい指示と受容
- 時にはそっと直して置くことも…プライドがある
- もちろん、何度も失敗する、「いい加減にして！」と言いたくなる
- 「いい加減にできれば」同じ失敗はしない
- 私も失敗する・・・彼らにも失敗する権利がある！

ご静聴ありがとうございました。

地域の中で

障がいのある人もない人も

みんなで助け合える関係性ができて行ったらいいな

障がいのある人たちが

除雪ボランティアに来てくれた

公園清掃を毎月やってくれている

地震の時にマンションの上まで水を届けてくれた

できること、たくさんたのんでね！活躍するよ